

授業科目名	ジェンダー論	単位数	2単位
担当教員名	高木由起子	担当形態	単独
実務内容 (実務家教員の場合)			
「学位授与の方針」との関係			
DP4.個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけ実践することができる(実践力) DP5.共生社会創造の目的のために、様々な分野について絶えず学び続ける態度を持つことができる(継続力)			
授業のテーマ及び到達目標			
(1)ジェンダーのおよび性に関する基本的な理解を深める。 (2)女性の性や性に関する多様な視点を学ぶ。 (3)性暴力・性被害の現状と課題を理解し、批判的考察ができる。 (4)自分自身と社会におけるジェンダー・性の問題に向き合い主体的に考える。			
授業の概要			
本授業では、ジェンダーの基本概念を学ぶとともに、女性の性や性暴力、性被害といったテーマについても扱う。ジェンダーは社会的に構築された概念であり、文化や時代によってその意味が変化する。ジェンダーが私たちの社会・文化・制度どのような影響を与えているのかを批判的に考察する。また、女性の性に関する歴史的・社会的な視点を踏まえ、男性、女性に起こる性暴力や性被害の実態、法的、社会的支援についても学ぶ。			
授業計画			
1 ジェンダーとは何か。性別とは何か。 2 こころと体の変化 3 女性の月経とPMS 4 月経中の食事とセルフケア 5 妊娠・不妊・人工妊娠中絶について 6 性感染症と性の健康 7 ジェンダーの歴史的背景と変遷 8 性別による社会的区分とその影響 9 ジェンダーと学校教育 10 カミングアウトとアウトティング 11 ジェンダー・セクシュアリティの当事者が直面する課題 12 性的同意とデートDV 13 性暴力・性被害 14 ジェンダー・性に関する日本の現状と未来 15 まとめ			
科目修得試験			
スクーリングでの学修			
①ジェンダーに関する用語や概念を共有し、それらを理解・批判的に考察する。②実生活でのジェンダーに関する事例やケーススタディを分析し、社会的な影響や解決策を考える。③グループワークを通じて、多様なジェンダー経験や視点を共有し、相互理解を深める。			
テキスト			
特に指定しない。Googleクラスルームにて、資料を掲載する。			
参考書・参考資料等			
飯田貴子・熊安貴美江・来田享子(2022)『よくわかる スポーツとジェンダー』ミネルヴァ書房 9784623081561			
学生に対する評価			
スクーリング評価(25%)、レポート評価(25%)、科目修得試験(50%)			